

2000誌 に せ ん し

第36号
発行(一社)鹿児島県建築協会
青年部会
鹿児島市城山町2-13
TEL(099)224-5220



青年部会長
木落孝作

月日が経つのは早いもので八代目青年部会

長としての任期を迎えようとしています。振り返れば色々な事が思い出されます。まず会員拡大事業についてはここ数年の活動の積み重ねにより多数の拡大成功に繋がりました。紹介者や会員が一丸となり、会社への個別訪問などで直接ご本人や社長様にお問い合わせをすることで、会員減少の危機的状況を打破する事が出来ました。おかげさまで会の平均年齢も下がり、より青年部らしい組織になったように感じます。

研修事業においては若手経営者や経営幹部を対象に企業防衛対策や経営対策など会社の経営に向けた事業を行いました。活動事業では建築の未来を見据え、学生との交流事業に取り組みしましたが、「かごしま住まいと建築展」での学生との座

談会とは別に訪問型座談会を専門学校、工業系高校などで開催いたしました。その中

で感じたのは建設業界に対しての様々な誤解でしたが、質疑応答を通じて現状を理解していただき、たくさんの方の生徒さんが建築や地元企業に関心を示してくれた事が良かったと感じる事業でした。今回のような学生との交流事業は様々な可能性を秘めた事業なので今後の活動にも期待したいです。

次年度にせまりました二〇周年事業も準備委員会を中心に日時会場など内定してきておりますので素晴らしい式典になる事を確信しております。

最後になります。部長として二年間を支えていただきました。理事役員の皆様のご尽力に感謝申し上げます。次年度以降も建築業界の発展に向けて新理事役員の皆様の青年部会らしい発想や活動にご期待申し上げます。ともに、会員の皆様に措かれましてもご支援ご

協力の程、よろしくお願い致します。二年間、誠にありがとうございました。

総務・IT委員会



総務・IT委員長
前田忠倫

建築協会
青年部会、総務・IT委員長を仰せつ

かつております、前田組・前田と申します。早いもので役員となつて二年が過ぎようとしています。短かつたようで長かつた二年ですが、雰囲気にはだいぶ慣れてきたように思います。

さて、総務・IT委員会では、昨年の四月に総会を開催し、夏には恒例となった合同委員会・暑気払いを行いました。また、本年の一月には臨時総会・レクリエーション・懇親会を開催し、多数ご出席頂きました。改めて御礼申し上げます。

この二年間、色々な経験をさせて頂きました。委員会メンバーや事務局の皆様のご協力もあって、なんとか全うすることができました。本年にありがとうございました。

度からはまた新しい担いを頂きました。今までの経験を活かし、ご迷惑をかけないよう精進致します。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。



平成28年 1月29日
臨時総会・レクリエーション・懇親会

会員研修委員会



会員研修委員長
伊藤 誠

青年部会
会員の皆様、いつも会員研修委員会

の事業にご協力いただき誠にありがとうございます。

さて、会員研修委員会では、経営者講習会の開催と会員拡大を事業の柱として活動してまいりました。経営者講習会につきましましては、二七年の九月にフクモトマネジメント

ラボ(株)の福元克明様を講師にお招きし、「建築業の会計から分析する会社の力」というテーマで、決算書の読み方や決算書を基に経審のY評点をアップさせるポイントを解説していただきました。また、受講した皆様の経審の評点アップの方法についての関心が高かったことから二八年二月にも福元様をお招きし、経審のY評点アップのポイントに絞った第二回目の講習会を開催いたしました。会員拡大事業につきましては、未入会の方々に経営者講習会への参加をご案内すると共に同日開催の会員交流会にもご招待し、青年部会の雰囲気を感じていただける場を設けました。また個別の勧誘も並行して行い、今年度も新規の入会者を迎えることができましたことを大変うれしく思っております。

委員長の任に着いてからあつという間の二年間でしたが、委員会メンバー、理事の皆様、そして会員の皆様のお力により充実した時を過ごすことができました。来年度以降も青年部会のために尽力させていただきますので、今後共よろしくお

委員長の任に着いてからあつという間の二年間でしたが、委員会メンバー、理事の皆様、そして会員の皆様のお力により充実した時を過ごすことができました。来年度以降も青年部会のために尽力させていただきますので、今後共よろしくお

活動委員会



活動委員長 重留 巧治

活動委員長の委員長として二年間、皆様の御協力も



平成27年9月4日 経営者講習会

願ひ申し上げます。



平成27年10月25日 学生との座談会in2015 かがしま住まいと建築展

を行いました。「建築施工」という仕事のプレゼンや笑いを交えた質疑応答で青年部会ならではの座談会を開くことができ、学生への良いアピールになったのではと考えております。学校の先生方や各位関係者にもご協力していただき本当に感謝いたしております。また、事業を行う上で歴代最多回数となる委員会の開催に参加し、事業当日にも積極的運営・担当を受けていただいた活動委員会メンバーの皆様には本当に恵まれていたと実感しており、強い絆と熱い友情を築けたと思っております。

二年間、青年部会でしかできないさまざまな経験と多くの方々との出会いをさせていただきました。本当にありがとうございます。

私も一言



総務・IT委員会 千原 基彦

鹿児島鹿児島のシンボル「桜島」。しばらく大人しか

ったので、生活する私達にとっては非常に嬉しい日々が続いていましたが、噴煙の上がらない様を見ると少し寂しい気がし複雑な思いで過ごしていました。

先日、五ヶ月ぶりの噴火に伴い噴火警戒レベルが上がった時、ふと一昨年噴火した長野県御嶽山を思い出しました。「桜島」は通常生活する景観の一部となっていて、これまで活火山として深く考えたことはありませんでした。

しかしながら自然災害のニュースが多く聞かれる昨今、大正の大噴火から一〇〇年以上が経ち、活火山「桜島」を生活範囲に持つ私達は、慣れを捨て改めて防災意識を持つ時期が来たのではないだろうか。



会員研修委員会
川原大地

昨年七月より青年部会に入会いたしました

たマル川建設㈱の川原大地です。入会してからの半年余り、先輩方と共に研修やイベントに参加させていただき、今までにない経験が自分の中で確実にプラスになつているとを日々感じております。特に先日行われた学生との座談会では、質問に対する部会員の返答を真剣かつ純粋な眼差しで聞き入る生徒の皆さんの姿は、日々の忙しさや業務を遂行させることだけを考えていた自分に、改めて初心に帰ることに気が付かされる貴重な時間でした。

元々異業種の会社に勤務していた私は「建築」「経営」についてまったくの無知で何のスキルもありませんでした。毎日訳も分からず、がむしやらに仕事を覚え働いていただけで相談したいことも言い出せないまま不安とプレッシャーが付きまといつていました。そんな中、同じような境遇で共通の悩みや問題を抱えてきた先輩方と交わることで、助言をいただいたり、建築の

楽しさをご教授いただいたりと、入会してからは仕事に対する考えが良い方向に変わってきています。まだまだ未熟者でなにかと失礼が及ぶ点多々あるかと思いますが、未熟者なりの思いっきりさと積極さで青年部会活動並びに建設業の発展に貢献していきたいと思っておりますので、今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



活動委員会
山口秀典

この度、鹿児島建築協会青年部会に入会さ

せていただきましたヤマグチ(株)の山口秀典と申します。霧島市牧園町に本社を置き、創業以来公共土木と民間建築を柱に現在六六年目をむかえております。会社の継続的發展、一〇〇年企業を目指し、一昨年四月に東京より帰鹿・入社いたしました。前職では、衆議院議員の先生の下で秘書として勤めており、全く違う分野での新しい挑戦であり、当初は多くのギャップにびっくりすることもありましたが、それ以上に建築

業の役割や魅力、社会への貢献性を知っていく中で毎日が楽しく、充実しております。

変化の激しい時代の中で、歴史と伝統を守りながら、変化にも対応できる経営者をめざし、そしてふるさとに貢献できる企業づくりの為、これから青年部会の活動を通して、業界内のことや社会との関係について学び、先輩方から教えを請いながら一所懸命勉強していく所存です。また皆さんと共に建築協会青年部会を盛り上げていけるように頑張っておりますのでご指導ご鞭撻の程宜しくお願いします。

新入会員紹介



南 浩二
南建設㈱
会員研修委員会

卒会者紹介



成尾建設㈱
成尾岳次郎

事務局より「挨拶

このたび2月29日をもちまして退職いたしました。在職中は色々とお世話になりましたこと、心より厚く御礼申し上げます。

皆様方のご健勝を心よりお祈り申し上げます、お礼と退職のご挨拶とさせていただきます。

木通 美穂

2月より、木通さんの後任を務めさせて頂くことになりました。至らない点が多々あるかと思いますが、少しでも皆様のお役にたてるよう精一杯努力してまいります。

ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

伊東 佐起

青年部会員募集

青年部会では会員を募集しています。詳細については、建築協会事務局までお問い合わせください。